

(別記様式)

令和6年度 京都府立朱雀高等学校 通信制課程 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（ **計画段階** ・ **実施段階** ）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 生涯学習と社会的自立の基盤となる基礎学力を身に付け、社会に主体的・自律的に参画できる心豊かなたくましい人間の育成を目指す。 2 生徒の期待に応え、生徒の多様性が尊重される学校体制を作るとともに、生徒自身が将来に展望をもち、学び続けられる「生徒本位」の学校づくりに取り組む。	1 多様な学習履歴を有する生徒が在籍している現状を鑑み、学習支援、連絡等の効率化等についての実施方法について検討した。 2 生徒の単位修得と卒業に向けて、教職員全体で、指導方法の改善に努めた。 3 教職員全体で特別支援教育に係る理解を一層深め、生徒の実態を把握し、学習に係るユニバーサルデザイン化を進めた。今後も継続して教職員の理解深化を図る必要がある。	1 ICT機器を活用した効果的指導方法を具体的に研究し、生徒の自学自習が一層進むよう、指導の在り方を研究する。 2 卒業者数、単位修得者数の増加を目指し、従来の指導方法等を検討、再構築する。 3 支援が必要な生徒の学習が円滑に進むよう教職員の理解を一層深めカウンセリングマインドを基盤にした対応能力の向上をはかる。様々な機会を通じて、関係機関との連携、HPやパンフレットの充実、説明会等で通信制課程の広報に努める。

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題	
1 組織・運営	・学校経営方針に即した組織や体制を整え、学習指導の充実・改善に努める。 ・通信制課程の特色を外部に発信するための広報活動拡充を図る。 ・部長会等の開催回数を増やし、通信制の課題や今後の在り方・方向性を検討する。	・学校経営計画に基づき、分掌・担任・教科が一体となって、具体的な取組を実施することで、教育活動の充実に努める。		
		・ホームページの刷新、充実と利用促進を図るとともに、様々な機会を使って広報を充実する。		
		・生徒の自学自習が一層進むよう、本校のシステムの課題を検討し、具体的な方策を教員全体で協議する。		
2 教育課程の編成と実施	・通信制・単位制の特色を生かし、多様な生徒の興味・関心・進路希望に応じた選択科目を設置し、個々の生徒の学力伸張を図る。 ・多様な学習履歴を持つ転編再入学生徒の学習が円滑に進むような教育課程の編成を進める。	・基礎力の充実に主眼を置いた科目と特色ある科目をバランスよく設置し、生徒の希望・要望に応える。新たな学校科目の設置を研究する。		
		・特色有る教育課程の編成を前提に、本人の能力適性を見極め、生徒自身が適切な受講科目登録ができるよう指導する。		

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題		
3 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自学自習できる力を高めることを支援し、基礎学力の定着に向けた取り組みを推進する。 ・個々に応じた適切な指導とわかりやすい教材作成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング、レポート、テストについて、生徒が年間を通じて自主的・計画的かつ継続的に学習できるよう指導し、基礎学力の定着を図る。 ・「学習ガイド」が生徒の理解を促進する内容になるよう継続的に工夫改善する。 ・ユニバーサルデザインを意識したレポートやテスト作りを学校全体で共有しながら取り組む。 			
4 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な年齢層の生徒、支援を必要とする生徒、仕事や家庭と学習の両立を図る生徒など、多様な生徒の学校生活が充実するように援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全かつ、よりよい学習環境づくりを推進するため、全教職員で登下校時に校門立哨指導を実施する。 ・全教職員で放課後の校舎内外の清掃等を、全てのスクーリング日・テスト日で実施する。 			
5 特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や学校行事、部活動、人権学習などを通して、相互交流を促し、生徒が学校生活に慣れ親しみ、積極的に学習に取り組める環境となるよう指導、支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動においては、行事の企画・運営等について生徒が協力しながら自主的に企画・運営できる能力を育成する。課程間の交流について検討する。 ・部活動においては、健康面と安全面に十分配慮しつつ、共通の興味や関心に基づく自主活動が継続できるよう支援する。 ・特別活動を通じて、生徒の自主性・自立性を高め、互いを尊重する態度を涵養することで、生徒が充実した学校生活を送れるよう、指導・援助する。 			
6 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの人権意識を高め自他を個人として尊重する姿勢や態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人権問題を中心テーマに設定した学習会を実施し、一人ひとりの尊厳と人権を尊重する教育の推進を図る。 			

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題	
7 進路指導	<p>・個々の生徒の進路希望・適性・学力を的確に把握し、ホームルーム等の様々な機会を通して進路情報を提供すめとともに、生徒の進路保障に努める。</p>	<p>・就職説明会や就職セミナーを開催し、生徒の希望進路の実現と社会的自立を支援する。</p> <p>・ハローワーク及び京都自立就労サポートセンターとの連携を通じて、就職指導の一層の充実をはかる。</p>		
	<p>・生徒が自ら進路を考え、望ましい職業観・勤労観を身につけながら、進路実現に向けて、主体的に取り組む姿勢を涵養する。</p>	<p>・進学説明会を実施し、進学希望者の進路実現を支援する。進学に向けた自学自習のためのオンラインツールの斡旋と利活用を奨励する。</p>		
		<p>・学年部と緊密に連携して、個別相談・個別指導を充実させる。</p> <p>・「朱雀だより」、「進路だより」等を通じて、生徒の進路意識の向上を図る。</p>		
8 健康 安全教育	<p>・心身の健康を生徒が自ら管理できるように支援する。</p>	<p>・配慮や特別な支援が必要な生徒の実態把握に努め、必要な支援を実施するため、教職員の共通理解を進める。支援体制のあり方を具現化する。</p>		
		<p>・特別活動や「保健だより」の発行を通じて、生徒自らの健康自己管理能力の増進を図るとともに心身の健康の保持と増進の啓発に努める。</p>		
		<p>・薬物乱用の防止学習会を早期に実施し、生徒が薬物の害毒を身近な問題と捉えるとともに、誘惑に負けない対処法を身につけるよう指導する。</p>		

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題	
9 安全管理	<p>・健康で安全な学習環境づくりを全教職員が一致して推進する。</p>	<p>・定期環境衛生検査の実施、校内安全点検・環境衛生点検等を随時実施し、環境美化と安全な学習環境づくりに努める。</p> <p>・生徒の心身の健康状況を適確に把握し、心身の健康増進に努める。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと適宜連携を強化する。</p> <p>・危機管理体制（不審者対策、防火・防災管理）の確立を図るとともに、研修会を通じて教職員の意識高揚と実践的対応力を身につける。</p>		
10 研修	<p>・各種研修会を通じて、教職員の資質を高めるとともに、教育活動に活かすことのできる実践的な研修内容を検討する。</p> <p>・通信制課程の課題を明らかにし、課題解決に資する研修を企画する。</p> <p>・他府県の通信制高校の情報を収集し、本校の学習システムの改善につながる研修を実施する。</p>	<p>・各分掌が企画する教職員研修会を実施し、その実施・運営・充実に努める。</p> <p>・三課程合同で研修会を企画・開催する。</p> <p>・特別支援教育校内委員会等を通じて、課題のみられる生徒の理解を進め、適切な支援方法等を協議・実践する。</p> <p>・全国、近畿の通信制研究会の研修会や大会等に参加し、情報を収集するとともに、通信制課程の教育の在り方について理解を深める。</p>		
11 情報・文書管理	<p>・校内ネットワークの維持管理に努める。</p> <p>・情報発信の基本となるホームページの改善、充実に努める。</p>	<p>・職員間での情報共有を進めるための効果的なネットワーク活用やICT機器活用について研究する。</p> <p>・他校事例も参考にしながら通信制課程のホームページの充実に努める。</p>		

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題	
12 家庭・関係機関との連携	<p>・積極的な情報発信による開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>・「朱雀だより」の発行やホームページの更新を通じて家庭への広報、外部への情報発信を推進する。</p> <p>・福祉関係機関や児童相談所等の関係機関と連携・支援し生徒が前向きに学習活動に集中できるよう支援する。</p> <p>・保護者の意見や教育活動の中で指摘のあった事項を受け止め教育活動の改善・充実に努める。</p>		
学校運営協議会による評価				
次年度に向けた改善の方向性				